

次期「新潟市一般廃棄物処理基本計画」の基本的事項

理念

ともに創造する持続可能な循環都市・にいがた

施策の視点

①環境 3Rの取り組み推進による環境負荷の低減	②協働 市民・事業者・市の連携によるごみの減量・資源化、環境美化の仕組みづくり	③安心 市民が安心できるごみ出し支援の充実と災害時に備えたごみ処理体制づくり	④啓発 ターゲットを意識した情報提供と情報入手手段の充実による啓発の推進	⑤効率 費用対効果を考慮した効率的な施策の推進及び収集・処理体制の構築
-----------------------------------	---	--	--	---

数値目標

① 1人1日あたりごみ総排出量

② 1人1日あたり家庭系ごみ量

③ 事業系ごみ排出量

④ リサイクル率

指標

① 最終処分量

② 廃棄物分野のCO₂排出量

③ 生ごみ量・食品ロス量

④ 可燃ごみに含まれる紙類

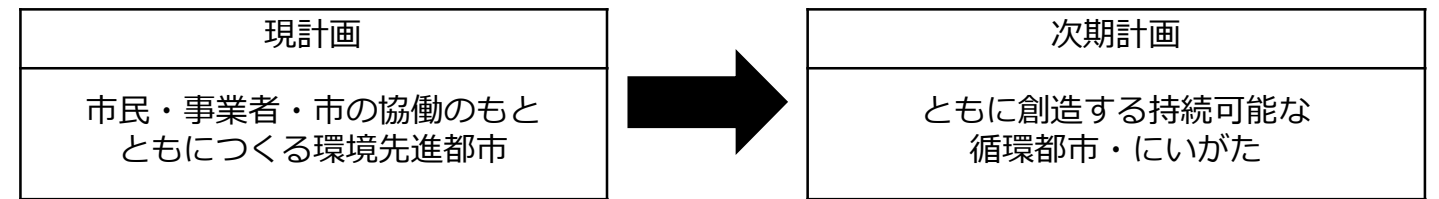
施策

1. 2Rの推進によるごみの減量 【視点：①②④⑤】 1-1 リデュースの推進 1-2 生ごみ・食品ロスの減量 1-3 リユースの推進	5. 地域の環境美化の推進 【視点：①②③④】 5-1 地域全体の環境美化の推進 5-2 ごみ集積場周辺の環境美化の推進
2. さらなる資源循環の推進 【視点：①②④⑤】 2-1 リサイクルの推進 2-2 古紙類の分別推進 2-3 資源物排出機会の提供	6. 安定かつ効率的な収集・処理体制 【視点：①③⑤】 6-1 効率的な収集・運搬体制 6-2 焼却施設の更新及び統合
3. 意識啓発の推進 【視点：①④】 3-1 情報提供の充実 3-2 環境教育の推進	7. 低炭素社会に向けた処理施設の活用 【視点：①⑤】 7-1 廃棄物エネルギーの利活用 7-2 発電電力の地産地消
4. 市民サービスの向上 【視点：②③④】 4-1 高齢者等への支援の充実 4-2 ごみ処理手数料の市民還元	8. 大規模災害に備えた体制整備 【視点：②③④⑤】 8-1 災害廃棄物処理計画に基づく体制整備 8-2 災害時も稼働できる処理施設の整備

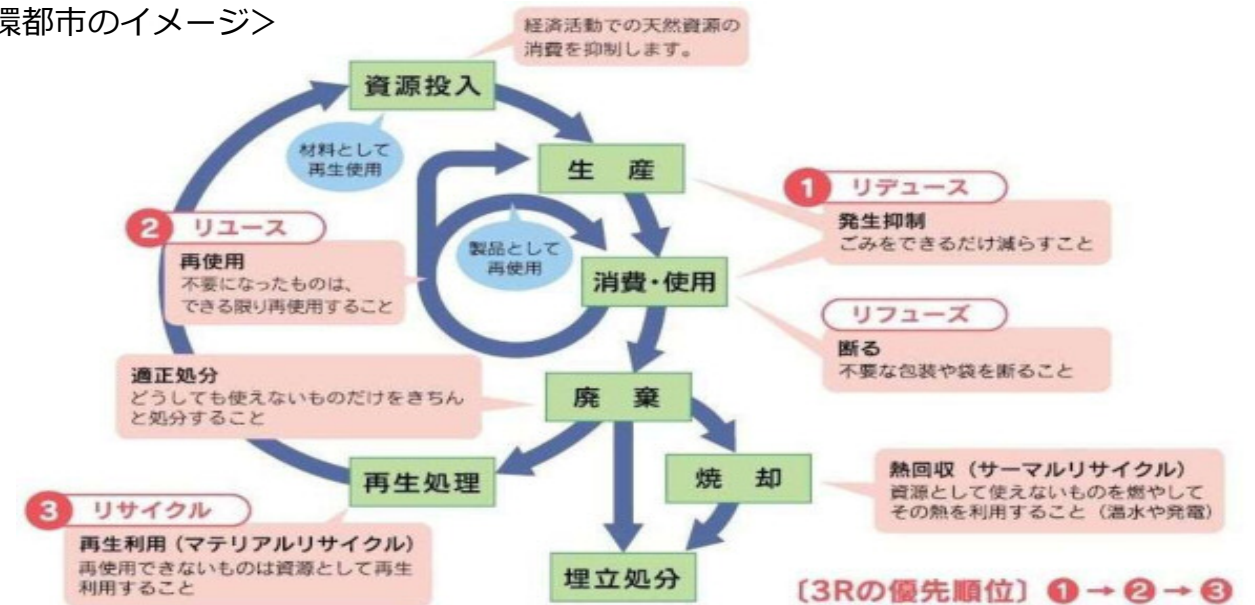
・・・今回審議

・・・前回審議（今回確認）

●理念について



＜循環都市のイメージ＞



【理念についての考え方】

- ・計画期間である10年後を見据えた都市像を掲げる
- ・計画の特長（考え方や注力する点など）が盛り込まれている

ともに創造する 持続可能な 循環都市・にいがた

① ② ③

- ①・・・市民、事業者、行政それぞれができることを考え行動する
- ②・・・社会状況^{*}の変化を踏まえた施策の展開、循環のサイクルが途切れずつづく
 ※人口減少や高齢化、先進技術の進展など
- ③・・・目指すべき都市像（低炭素社会に向けた行動の一つ）

●キャッチフレーズについて

- ・行動を喚起するキャッチフレーズを、理念とは別に設定する
- ・キャッチフレーズは、ターゲット（関係者）へ浸透しやすく、親しみやすいものとする

